

中期目標 (今年度の学校経営の重点)		短期目標 (具体的な目標)	成果・取組指標 (目標達成のための手立て)	1学期末の評価		年度末の結果		保護者アンケート		
				1学期の反省を受け2学期以降の改善	評 定	評 定	今年度の学校経営の重点の達成状況と今後	保護者項目	評 定	
自ら共に学ぶ子どもの育成	① 読解力の育成	・文や文章をよんで、書かれている内容を正確に理解することができる。	・基礎的、基本的な知識・技能の定着のための日常指導と授業づくりの工夫をする。 ・他者と協働しながら主体的に学ぶことのできる授業づくりの工夫をする。	・指導内容(授業づくりと家庭学習を含む日常指導)リストに沿った指導を行う。学期ごとの振り返りを行い、課題を明確にして次の学期の指導に生かす。 ・研究児童アンケートの結果を指導に生かす。 ・学力調査の経年比較を行い、成果と課題を明確にし、次年度に生かす。	・夏休みにデータ集計をして2学期からの指導に生かすことができるように提案予定。 ・児童に合った授業づくり・教材研究に努める。(自学級)・読解力がつくようトレーニングするプリントや、読解力を測ることができる。 ・標準化されたテストを購入してはどうか。	B	B	・1学期の指導内容(授業づくりと家庭学習を含む日常指導)リスト、児童アンケートの集計と振り返りを行い、課題を明確にして2学期の指導に生かすことができるよう提案した。学期途中で研究部としての啓発がもう少し必要。 ・研究に関する研修を4回行った。時間が足りない研修もあったが、各自が授業づくりを見直すうえで有効であった。 ・学力調査の経年比較を行い、成果と課題を明確にし、次年度に生かす。	・お子さんは様々なことに興味をもち、学習に向かうことができますか。	B
	② ふるさととキャリア	・夢を抱く力と夢をかなえる力をバランスよく伸ばしている。	・ふるさととのつながりに気づき、ふるさとに支えられていることを知る。 ・働いている人の想いや願いや意欲をもって探ろうとする。	・それぞれの学年の教育活動に地域の方との連携を取り入れ、ふるさととの「ひと・もの・こと」から学ぶ機会を作る。	・今後、地域の方との連携が増えてくると思うが、授業時数や行事とのバランスが上手くとれるように調整して取り組むことができる。よい。 ・生活単元の活動の中に、町探検などを取り入れる。(自学級) ・ふるさととの「ひと・もの・こと」をつなぐコーディネーターさん(コミセン、社会教育課、てごねっと)との連絡会を、学期ごとに開催してみようか。	B	B	・地域教材や地域人材の活用が各学年で積極的に行われた。地域の「もの・ひと・こと」に気持ちを寄せ、よさを感じることができた児童が多かった。 ・学力向上の観点から、見直しが必要とされている。本校の目指すところはどこなのか、学校経営の軸はどこなのかを明らかにし、内容の大幅な見直しをしていく。	・お子さんは友達と助け合ったり、協力したりして、地域の良さに気付いていますか。	B
		・自分なりの目標をもち、努力し続けようとする。	・キャリアパスポートを活用し、これまでの学びや自分の成長をふりかえる。	・キャリアパスポートを活用し、これまでの学びや自分の成長をふりかえる。	・夢シートの見直しが必要かもしれない。	B	B	・キャリアパスポートのシートは、学年の実態に応じて工夫して取り組まれている。現状維持。	・お子さんが困ったり、悩んだりした時に、お家の人や学校に相談できることができますか。	B
	認め合い支え合う子	① 特別支援の推進	・適切な支援を受けながら、見通しをもって学ぶことができる。	個に応じたきめ細かな指導を行う。	・サポートファイルを活用して、支援の記録を残し、全体で共有し、適切な支援ができるようにする。	・全体共有や共通理解のためには、職員会等で時間を設けて話をする必要がある。職員室内の会話で何となく分かることも多いが、分かっていないことも多いように感じる。(自分だけかもしれないが)・保健室で得た情報は記録として残し、回覧して情報共有をした。	B	B	・校内支援委員会で支援について検討した児童についてサポートファイルを作るとよいのではないか。(担当：特別支援教育 Co)	・お子さんはゲームやネットの利用について、家族で話し合ったルールを守ることができますか。
② 人権教育の推進		・自他の大切さを認め、具体的な行動に表すことができる。	自他が気持ちよく安全に過ごせるよう、生徒指導の充実を図る。	・児童や学級の実態に合った生活目標を立て、振り返りを行って、課題解決につなげる。	・全体共有や共通理解のためには、職員会等で時間を設けて話をする必要がある。分かっていないことも多いように感じる。(自分だけかもしれないが)取り組み方を変えていく。	B	B	・学級のちょっと気になる児童のことも遠慮せず特別支援 Co に相談する。個に応じた指導を校内支援委員会で検討することができる。	・学校から出る各種お便りや、学級だよりにより、お子さんの様子や、学校の様子が伝わってきますか。	B
		教育相談を実施し、日頃の指導に活かす。	・ロング昼休みを設け、教育相談の時間を保障する。	・教育相談の時間が確保されていることはとてもよい。 ・保健室来室の機会を使って、健康相談を行った。	・暑い時期を避けつつ、自主的に体力向上にチャレンジする場を作ってはどうか(例：体力テストパート2など)	A	B	・毎日の終礼で振り返りをし、達成度に応じてシールを貼っていく方法は、時間をかけずに毎日取り組むことができ、続けやすかった。 ・発達段階や実態に応じて、児童に具体目標を設定させて主体的に取り組めるようにするとよい。 ・ロング昼休みを設けて教育相談の時間を確保することで、担任と全児童が話をすることができた。 ・今年度は、3学期冬休み明けにも教育相談の時間を設定した。		
体育の授業や課外活動、体を動かす遊び等を通して体力を向上させる。	体を動かすことの楽しさを感じられるような機会を設ける。	・全校遊び・縄跳び大会などを実施することで、体を動かすことの楽しさを知らせる。	・暑い時期を避けつつ、自主的に体力向上にチャレンジする場を作ってはどうか(例：体力テストパート2など)	B	A	・バスケット・ラグビーの外部講師による授業を実施した。来年も継続したい。 ・インフルエンザの流行により1回実施できなかった。来年度は開催時期を検討する。				

健康でたくましい子	① 体力づくりの推進	せる。	落ち着いて生活し、学習に取り組むことができるよう、体作りを行う。	・「シャキッと座ろう体操」を週1回以上取り組む。・外部講師による「姿勢作りの指導」を行う。	・1学期に行った姿勢作り教室の内容を踏まえた、エクササイズを考え学校全体で行う。外部講師を呼んで姿勢教室を行った。事後の指導として、朝の体操を実施する準備を進めていく。「姿勢教室」で学んだことを参考に、2学期は朝の時間に、姿勢のエクササイズに取り組む予定。	B	A	・事前に立てた計画に沿って、計画的にエクササイズを実施することができた。子ども達が3つの力を意識して学習に取り組んでいる。 ・毎朝「いきいきエクササイズ」を実施した。児童自身が意欲的に取り組めるよう、全校でエクササイズを行う機会をつくりたい。 ・1月26日の学校保健委員会で高木先生に講演をしてもらい、保護者にもアプローチする予定。	学校評価委員さんより ・今年度はスポーツ選手が来るなどたくさん経験が成された。 ・いきいきエクササイズは読み聞かせの時に一緒に行ったが、とても良い。 ・ふるさとキャリアの項目についてはふるさとキャリアを行うと学力が伸びないということなのか？ふるさとキャリは地域にとってとても大切な項目。学びにとっても大切。→江津市からも出ているふるさとキャリアについて指導者も知る。 ・LGBTについては小学校段階から正しい理解を行っていくようにすると良い。→本校では6年生が養護教諭から授業をもらっている。他の方法も考えられる。研修等。
	② 健康教育・安全教育の推進	健康や安全に関する知識・技能を身に付け、継続的に実践できる。	様々な機会をとらえて、保健指導や食育指導などの健康教育を行う。	・ごうだっ子いきいきチャレンジを年4回計画的に実施し、健康に関する知識・技能を身に付け、継続的に実践できるよう、働きかける。 ・掲示物やおたよりを通して、健康や安全に関する知識・技能について発信する。 掲示物一隔月、おたより一毎月	・児童が主体的にいきいきチャレンジに取り組むことができるよう、事前指導や事後指導に力を入れていく。 ・保健室からの家庭連絡カードがとてもよい。(担任が連絡帳に書かなくても、カードを貼ればすむため)保護者の評判も良い。 ・いきいきチャレンジを実施した。昨年度よりさらにカードをシンプルにしたことで、児童も取り組みやすかったと思う。 ・ほげんだより裏面を活用して、食に関する情報発信を行いたい。 ・健康教育が充実しているように感じる。掲示物や保健だよりを作成して、学校保健目標に沿った内容を発信することができた。	B	B	・児童が主体的にいきいきチャレンジに取り組むことができるよう事前指導・事後指導を計画的に行っていく。 ・子どもたちの興味を引く掲示物を作成した。子ども達の実態や興味に合わせた掲示物を継続的に作成したい。 ・ほげんだよりや食育だよりを毎月発行した。	
	よりよい教育を提供する学校づくり	積極的な情報発信、計画的な教育活動の公開	学校経営方針や教育活動の情報積極的に発信し、理解啓発を図る。	・計画的な学校便りの発行や、学級だより、学校HPの活用、連絡メールの活用、学校行事等の適時的案内を行い、教育活動を広く保護者や地域に公開する。	・連絡メールの文面は、読んでいてわかりやすく、親しみやすい内容にまとめられていると感じる。月1回以上、計画的に保健だよりを発行した。	A	A	・各学級が定期的に学級通信を出し、子どもの様子や学校の様子を丁寧に伝えた。 ・急遽学校行事が変更になる時は丁寧に伝える必要がある。	
家庭・地域社会とのつながり	学校改善を進めるための学校評価の活用	校務分掌組織を活用した学校経営の一貫としての学校評価に努める。	・学校経営方針の評価と他の評価指標との突き合わせを行うことで、評価により客観性をもたせる。	・自分が担当した行事や活動の反省をとっておき、次年度の計画に活かしたい。 ・分掌部で一人一人の意見を吸い上げる。	B	C	・校務分掌組織を活用した学校経営を行う。 ・個々には意識をもっているが、組織的に動いているとは言えない。部長中心に各部で位置付けていく。場合によっては1ヶ月に1回位置付ける等。		
	指導力・対応力の向上を図る校内研修の推進	教職員の資質能力の向上のための職員研修を充実する。	・学力向上のための授業づくりとそれを支える学級経営、学級づくり、人権・同和教育等に関する研修の場を設定し、実践的指導力の向上を図る。		A	A	・人権・同和教育等の研修がしっかりと位置付けられた。 ・子供中心の集会等あっても良かった。資質能力研修等校内研修の推進が行われたことは指導力向上につながった。		
	教育環境の整備	落ち着いた学習・生活に取り組むことのできる環境づくりをする。	・子どもたちが整った環境の中で落ち着いて学習が行えるよう、教室環境の整備や、教材教具の整理整頓等、環境の美化に努める。	・まずは職員から、使用したものはすぐに片付ける、元の場所に戻す等、習慣づける必要がある。購入したものの紹介も含めて。 ・職員室の美化・整頓急務 ・老朽化に伴う施設整備や、広い敷地の管理について、市教委には積極的に考えてほしい。 ・毎月の安全点検を実施、日にちを決めて保健室の備品・消耗品のチェックを行い環境整備に努めた。	B	B	・以前より全体的に随分学校がきれいになった。 ・古い学校なので修繕が必要な箇所がたくさんあるが、きれいにしていく意識が大事。		

自己評価については、 A：十分達成 B：ほぼ達成 C：一部に課題がある D：大きな課題がある とし、記入する
アンケート結果、実績値などの数値化によって評価する。 その場合、100%の達成率に対して、A：80%以上 B：60～79% C：40～59% D：39%以下とする。